

● 入試英語の土台を固める夏

Q：英語の力とは何か？

A：「読む (Reading)」「書く (Writing)」「聞く (Listening)」「話す (Speaking)」の4技能！ ☞ 正解！！
しかし、いきなりそれらの力を身に付けるのは難しい話です。まずは、それらの力の土台となる【語彙・語法】
【文法】を学び、固めましょう！

授業では、【文法】の「解説⇒演習」を行います。また、リスニング特訓・イディオム特訓を通じて【聴く力】
や【語彙・語法】を身につけましょう。さあ、英語力の土台を固める夏の始まりです！

◆ A_カリキュラム			事前課題	事後課題
①	一般動詞・be 動詞	リスニング特訓①	p.7 ①②	直し +
②	進行形・未来形①	イディオム特訓①	p.7 ③ p.11 ① イディオム予習①	直し +
③	未来形②・助動詞	リスニング特訓②	p.11 ②	直し +
④	不定詞1・動名詞①	イディオム特訓②	p.19 イディオム予習②	直し +
⑤	動名詞②・不定詞2	リスニング特訓③	p.35 ②	直し +
⑥	さまざまな文型1	イディオム特訓③	p.23 ② イディオム予習③	直し +
⑦	さまざまな文型2	リスニング特訓④	p.35 ①	直し +
⑧	接続詞	イディオム特訓④	p.27 ① イディオム予習④	直し +
⑨	比較の文	リスニング特訓⑤	p.27 ②	直し +
⑩	受け身	イディオム特訓⑤	p.31 ① イディオム予習⑤	直し +
⑪	現在完了形①	リスニング特訓⑥	p.31 ②	直し +
⑫	現在完了形② 現在完了進行形	イディオム特訓⑥	イディオム予習⑥	直し +

※ 事前・事後課題（イディオムの予習も含む）は、ノートに取り組み、丸付け・解き直しまで行うこと。

授業前には、必ず机上にノート・テキストを開いて準備をしておきましょう。

※ イディオム特訓は、テスト（3分）＋丸付け（2分）で行います。直しは事後課題です。

◆ 知識・理解が見える形に整理して、闘える数学力を身に付ける

方程式・関数・図形など問題を解くための「道具に磨きをかける」期間です。公式の理解・文章を式に表す力・解法の正確さを求めます。入試問題を解くための知識・技能を正確に身に付けましょう。

夏期講習会の数学では、①ノートを贅沢に使い知識が見えるように整理する。②いつでも使える武器として定着させるために家庭で解き直す。この2点に力を入れて臨みましょう！

◆ A_カリキュラム		事前課題	確認テスト	事後課題
①	3.4.一次方程式、連立方程式	Grow Up ①	'18 A日程	Brush Up ①
②	3.二次方程式	Grow Up ②	'18 B日程	Brush Up ②
③	5.比例・反比例・一次関数	Grow Up ③	'17 A日程	Brush Up ③
④	5.一次関数	Grow Up ④	'17 B日程	Brush Up ④
⑤	6.一次関数の利用	Grow Up ⑤	'16 A日程	Brush Up ⑤
⑥	7.場合の数	Grow Up ⑥	'16 B日程	Brush Up ⑥
⑦	7.確率	Grow Up ⑦	'15 A日程	Brush Up ⑦
⑧	8.資料の活用	Grow Up ⑧	'15 B日程	Brush Up ⑧
⑨	9.平面図形・多角形の角	Grow Up ⑨	'14 A日程	Brush Up ⑨
⑩	10.証明	Grow Up ⑩	'14 B日程	Brush Up ⑩
⑪	11.空間図形	Grow Up ⑪	'19 A日程	Brush Up ⑪
⑫	12.図形の性質	Grow Up ⑫	'19 B日程	Brush Up ⑫

点で覚えるな！線でつなげ！

高校入試で、より高い「思考力」・「判断力」・「表現力」を問う問題が多く出題がされています。これら、得点差が広がる問題に対応するためには、基礎知識の充実が大前提です。なぜなら、「判断」とは、「知識」をどのように組み合わせる結論を導くのかということであるからです。知識の欠如からは正しい判断は導かれません。

この夏は、基礎事項を身に付けることに力を入れるべきです。その上で、地理の「気候や産業、特徴」、歴史の「時代の出来事や人物」など、今まで「点」で覚えていた事がらを、いかに多く「線」で結び付けておけるかが「思考力」「判断力」という形態で問われることとなります。基礎基本事項を丁寧に覚えなおし、それに関連する事項を広げていく練習をしましょう！

事前課題 各テーマの「まとめ」をていねいに読んで当該ページを解いてくること。その際、間違えた問題に必ずチェックを入れて、授業後に書き直しをすること。

事後課題 授業ノートの読み直しと、間違えた問題の書き直しをすること。

年表まとめ 1回目…右ページ(解答)を見ずに解いてみる→できないところ、間違えたところがどこのかを明確にする 授業後に間違えたところの書き直しをする
2回目…チェックテストに向けて覚えなおしをしてくる

◆ A_カリキュラム		事前課題 テキスト	年表まとめ	年表テスト
①	世界のすがた、人々の生活と環境	p.3	p.3-8	
②	世界の諸地域(1)	p.7	p.9-14	
③	世界の諸地域(2)	p.11	p.15-20	
④	日本の姿、日本の特色	p.15	p.21-26	
⑤	日本の諸地域(1)	p.19	p.27-32	
⑥	日本の諸地域(2)	p.23	p.33-36	
⑦	古代の日本と貴族の社会	p.27		
⑧	武士の成長と世界の動き	p.31	p.3-8	p.3-8
⑨	全国統一と江戸時代	p.35	p.9-14	p.9-14
⑩	開国と近代日本	p.39	p.15-20	p.15-20
⑪	二度の世界大戦と現代日本	p.43	p.23-28	p.23-28
⑫	歴史のまとめ	—	p.29-36	p.29-36

※年表について：①～⑥講座は、基礎力完成の冊子 p.2 の指示に従って家庭学習を進めること。

⑧～⑫は同じ内容でチェックテストを行います。初回で間違えたところの覚えなおしをしておいて下さい

基礎学力の定着

主に中1内容、中2内容を学習します。各講座が単元のまとめと、一問一答式の問題、実戦的な問題で構成されています。まず大事な事は、授業内容の理解です。板書事項を丁寧にノートに書き写し、後々、見返せるノートにしましょう。各講座で不安な単元があれば必ず教科書等を使い自分なりに整理しておきましょう。愛知県入試では、中1～3の全範囲が出題されますが、点差がつく問題は限られています。

理科はいかに多くの単元を克服するかにかかっています。この夏、1つでも多くの単元を自分のものにしてください。間違えた問題はチェックしておき、2～3日おいてから、もう一度解き直すことを勧めます。

◆ A_カリキュラム	事前課題	確認テスト	事後課題
① 3.光・音	p.11	—	直し&授業で指示
② 4.岩石	p.15	—	直し&授業で指示
③ 3.音・力	—	—	直し&授業で指示
④ 2.状態変化	p.7	—	直し&授業で指示
⑤ 4.地震	—	—	直し&授業で指示
⑥ 2.気体の性質	—	—	直し&授業で指示
⑦ 1.生物	p.3	—	直し&授業で指示
⑧ 8.オームの法則	p.31	—	直し&授業で指示
⑨ 7.生物のからだ	p.27	—	直し&授業で指示
⑩ 9.湿度	p.35	—	直し&授業で指示
⑪ 8.磁界	—	—	直し&授業で指示
⑫ 9.前線と気圧配置	—	—	直し&授業で指示

『言葉の知識』を積み、『読みの基礎』を固めよう！

授業内では『文章のきまり』を使いながら、文章を読む演習を進めてもらいます。国語は文章の中に答えが必ず書いてあるのです。その場所さえ分かれば、答えは必ず導くことができるのです。その見つけ方をこの夏身につけていきましょう！

それぞれのテーマの基本となる文章読解を事前課題とします。「なぜその答えになるのか」を考えながら問題を解くようにしてください。解き終わったら、答え合わせまでしてください。

毎回、別冊の漢字冊子から、テストを行います。見直しをしておくこと

◆ A_カリキュラム	事前課題	確認テスト	事後課題
① 論説文(1)	p.2 1	—	解き直し
② 随筆文(1)	p.10 1	同音異義①	解き直し
③ 小説文(1)	p.18 1	同音異義②	解き直し
④ 古文(1)	p.26 1 2	同音異義③	解き直し
⑤ 漢文(1)	p.34 1 2	同音異義④	解き直し
⑥ 論説文(2)	p.6 1	同訓異字①	解き直し
⑦ 随筆文(2)	p.14 1	同訓異字①	解き直し
⑧ 小説文(2)	p.22 1	同訓異字①	解き直し
⑨ 古文(2)	p.30 1 2	四字熟語①	解き直し
⑩ 漢文(2)	p.38 1 2	四字熟語②	解き直し
⑪ 漢字・語句・文法	p.42(1)～(42)	—	p.43(1)～(48)
⑫ まとめ	p.42(43)～(86)	—	p.43(49)～(98)